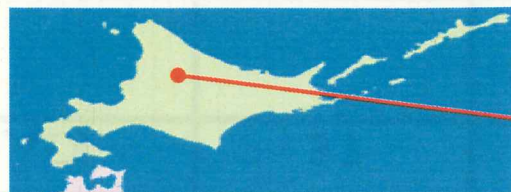


令和2年1月27日



日本政策金融公庫 旭川支店

国民生活事業

〒070-0034 北海道旭川市4条通9丁目1704-12 TEL:0166-23-5241

道北の小企業動向調査

株式会社日本政策金融公庫はこのほど全国中小企業動向調査を実施しました。道北地域の小企業の令和元年10月～12月期の実績および令和2年1月～3月期の見通しについては以下のとおりです。

調査方法	アンケート方式	調査時点	令和元年11月中旬	調査項目
有効回答数 と調査対象	公庫国民生活事業取引先 68 企業のうち 48 企業（有効回答率 70.6%） 上川管内全域、宗谷管内全域、留萌管内全域、および空知管内のうち北空知地域（深川市、秩父別町、北竜町、雨竜町、妹背牛町、沼田町）に本店所在地がある企業から抽出。			1 業況判断 2 売上 3 採算 4 資金繰り 5 借入 6 設備投資 7 経営上の問題点
回答企業の 業種別内訳	●建設業（従業者20人未満）… 3 企業（構成比 6.3%） ●製造業（従業者20人未満）… 8 企業（構成比 16.6%） ●運輸業（従業者20人未満）… 1 企業（構成比 2.1%） ●卸売業（従業者10人未満）… 5 企業（構成比 10.4%）			●小売業（従業者10人未満）… 12 企業（構成比 25.0%） ●飲食業（従業者10人未満）… 10 企業（構成比 20.8%） ●サービス業（従業者20人未満）… 9 企業（構成比 18.8%）

注 各調査項目の「全国」の数値については、当公庫総合研究所が集計した「全国中小企業動向調査（小企業編）」（日本政策金融公庫 ホームページ <http://www.jfc.go.jp/>）を参照。

元年10月～12月

道北小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏み感がみられる

今期の業況判断DI(全業種計)は▲33.3ポイントと、前期に比べ16.3ポイント低下。

来期は▲38.8ポイントと、5.5ポイント低下する見通しである。

売上DIは、前期に比べ13.1ポイント低下。来期も15.3ポイント低下する見通しである。

採算DIは、前期に比べ20.9ポイント低下。来期も6.4ポイント低下する見通しである。

資金繰りDIは、前期に比べ29.1ポイント低下。来期も8.6ポイント低下する見通しである。

	元年7月～9月期 (前期)	元年10～12月期実績 (今期)〈全業種計〉			2年1～3月期見通し (来期)〈全業種計〉		
業況判断DI	▲ 17.0	▲ 33.3	前期比 ▲ 16.3 ポイント ↓	▲ 38.8	今期比 ▲ 5.5 ポイント ↓		
売上DI	▲ 17.3	▲ 30.4	前期比 ▲ 13.1 ポイント ↓	▲ 45.7	今期比 ▲ 15.3 ポイント ↓		
採算DI	6.0	▲ 14.9	前期比 ▲ 20.9 ポイント ↓	▲ 21.3	今期比 ▲ 6.4 ポイント ↓		
資金繰りDI	10.0	▲ 19.1	前期比 ▲ 29.1 ポイント ↓	▲ 27.7	今期比 ▲ 8.6 ポイント ↓		
借入DI	8.7	0.0	前期比 ▲ 8.7 ポイント ↓				

業況判断DI = 「良い」とした企業割合と「悪い」とした企業割合の差

採算DI = 「黒字」の企業割合と「赤字」の企業割合の差

借入DI = 「容易」とする企業割合と「困難」とする企業割合の差

売上DI = 前年同期と比べて「増加」した企業割合と「減少」した企業割合の差

資金繰りDI = 前期と比べて「好転」した企業割合と「悪化」した企業割合の差

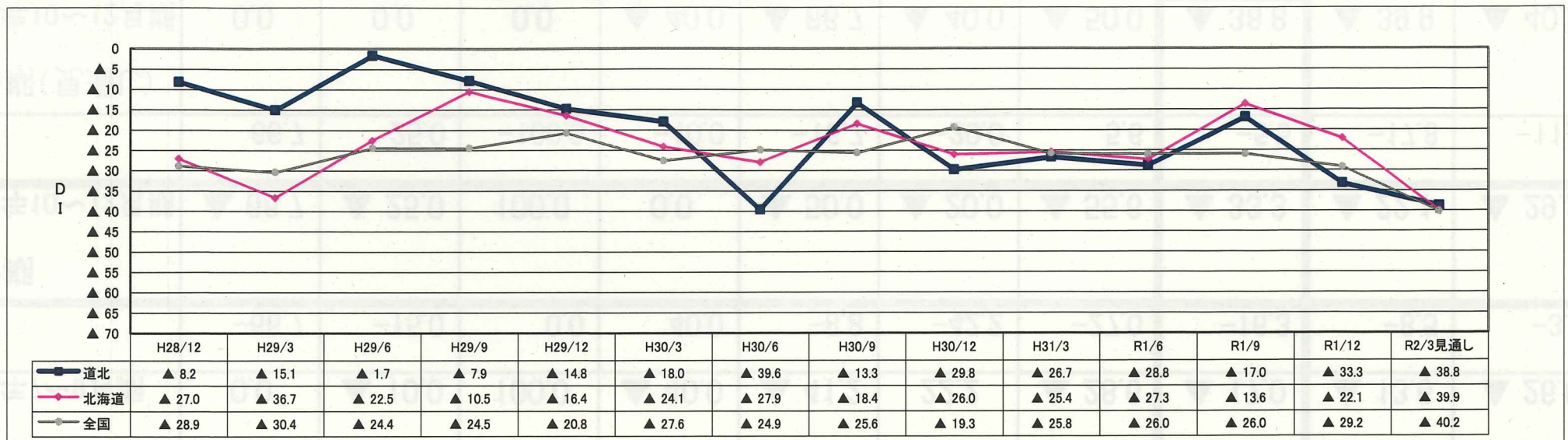
- 今期の業況判断DIは、運輸業、卸売業を除く業種で低下となり、合計では前期(▲17.0)に比べて 16.3 ポイント低下し▲33.3 となった。
- 来期については建設業、製造業、サービス業が上昇する見通しであるが、全体としては 5.5 ポイント低下の▲38.8 となる見通しである。

業種別・地域別業況判断DI

	建設業	製造業	運輸業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業	道北地区 (全業種合計)	北海道全域 (全業種合計)	全国 (全業種合計)
前期										
元年7～9月期	0.0	▲ 10.0	100.0	▲ 40.0	▲ 41.2	22.2	▲ 28.6	▲ 17.0	▲ 13.6	▲ 26.0
↓	-66.7	-15.0	0.0	40.0	-8.8	-42.2	-27.0	-16.3	-8.5	-3.2
今期										
元年10～12月期	▲ 66.7	▲ 25.0	100.0	0.0	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 55.6	▲ 33.3	▲ 22.1	▲ 29.2
↓	66.7	25.0	-100.0	-40.0	-16.7	-20.0	5.6	-5.5	-17.8	-11.0
来期(見通し)										
元年10～12月期	0.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 66.7	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 38.8	▲ 39.9	▲ 40.2

元年10~12月期 業況判断

業況判断D I（全業種計）の推移



元年10~12月期

経営上の問題点

- 今期は「売上不振」が34.7%と最も多かった。次いで、「求人難」が18.4%、「利益の減少」が14.3%となった。

(注) 経営上の問題点(上位3項目)とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位3位まで示したものと

経営上の問題点の推移(全業種計、上位3項目)

